



K220.72

73

1

言 緒

一 本書は中學校を主とし其の他中等學校程度の習字科教科書に充てんが爲に、多年教授に經驗ある諸家の意見を基礎として編纂したるものなり。

一 本書は全三巻とし、一學年に一巻を充て、一學年毎に楷行草三體を循環的に學習し得べく配列せり、されば一學年だけ課する學校にては卷一を充て、二學年だけ課する學校にては卷一・二兩巻を充つるを以て適當とす。

一 ペン習字は實用的に必要に迫られつゝある現下の状態に鑑み、特に毛筆と同一筆者の手に成れるものを卷末に附録とせり。

山口彦總書  
現代書

東京

臨金

卷一

光風館藏版

大正

14. 11. 19

内交

立言公共

文吏丈夫

日月平年

甲率臣下

本末先見

上五

武威心志

上六

大和心ノ美ハシサハ櫻花ノ  
爛漫トシテ梢ニ満チマタ

上七

朝ノ風ニ潔ク散リテナホ  
餘芳ヲ留ムルニモ似タリ

上八

往復江河宇

上九

宙陰陽都鄙

上十

草花算筆紡

上  
十一

績進退狼狽

上  
十二



塵モツモレバ山トナル  
神ハ正直ノ頭ニヤトル

上十三

笑フ門ニハ福キタル  
旅ハ道ツレ世ハ情

上十四

仁德海洋神

上十五

祖禊補股肱

上十六

菲薄筆答租

上十七

稅精粗組織

上十八

氣候溫暖地味肥沃五穀  
豐熟百姓殷富國運發展

上  
十  
五

皇統連綿萬世一系天壤  
無窮寶祚萬歲君臣一體

上  
十  
五

職業無貴賤

上

人格有高下

上

書は交際の要具にして其の巧拙は人品の如何にも関係すること

上  
廿三

少からず況是一種の美術にして古來教育の要素となさるるをや

上  
廿四

義も泰山よりも重く

上  
世  
五

命は鴻毛よりも軽し

下  
世  
五

謹んで新年の吉よるごびを申し上げます

上  
世  
八

大正十四年一月一日

恭賀新年

丙寅歳旦

上  
世  
八



廿廿直立大

上廿九

人孝子忠如

廿九

四面努力

十卷一

素行子明

十卷二

花の雲纏ハ上野の浅草か 芭蕉  
寺意建て仁王にせあると如葉哉 醒雪

上批三

雨来らんとして頻に揚る花の乳 紅葉  
化物の正體見たり 枯尾花 也有

上批四

粗品薄謝祝儀

上册五

錢別香奠歲暮

上册六

法中越々泉本泉也便々法送り  
申一 僧百法三交五下さるべし

古叢書の品正より新書仕立  
古手数有かたく古禮中一の儀

大正十四年十月為  
光風館主人囑  
半澤台彦總書



附  
錄

勅語

朕惟フニ我カ皇祖皇宗國ヲ肇ムルコト宏遠ニ德ヲ樹ツルコト  
深厚ナリ我カ臣民克ク忠ニ克ク孝ニ億兆心ヲ一ニシテ世々厥美  
ヲ濟セルハ此レ我カ國體ノ精華ニシテ教育ノ淵源亦實ニ此ニ存ス

爾臣民父母ニ孝ニ兄弟ニ友ニ夫婦相和シ朋友相信シ恭儉己レ  
ヲ持シ博愛衆ニ及ホシ學ヲ修メ業ヲ習ヒ以テ智能ヲ啓發シ德  
器ヲ成就シ進テ公益ヲ廣メ世務ヲ開キ常ニ國憲ヲ重シ國法ニ  
遵ヒ一旦緩急アレハ義勇公ニ奉シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶

翼スヘシ是ノ如キハ獨リ朕カ忠良ノ臣民タルノミナラス又以  
テ爾祖先ノ遺風ヲ顯彰スルニ足ラン

斯道ハ實ニ皇祖皇宗ノ遺訓ニシテ子孫臣民ノ俱ニ遵守スヘキ  
所之ヲ古今ニ通シテ謬ラス之ヲ中外ニ施シテ悖ラス朕爾臣

民ト俱ニ拳拳服膺シテ咸其德ヲ一ニセンコトヲ庶幾フ

明治二十三年十月三十日

御名 御璽



男兒立志出鄉關學若不成死不還  
埋骨豈期墳墓地

人間到處在青山

僧 月性

去年今夜侍清涼秋思詩篇獨斷腸  
恩賜袈衣今在此  
捧持每日拜餘香

菅原道真

仙客來遊雲外巔神龍栖老洞中淵  
雪如紈素煙如柄

白扇倒懸東海天

石川丈山

鞭聲肅々夜過河曉見千兵擁  
大牙遺恨十年磨劍

流星光底逸長蛇

賴 山陽

衣至舒袖至腕腰间秋水鐵可斷人觸  
斬人馬觸斬馬十八结交健兒社北客  
能來何以酬彈丸硝藥是膳羞客猶不  
屬饜好以寶刃加渠頭

雲邪山耶吳耶越水天髮歸青一髮萬里泊  
舟天草洋煙橫蓬窓日漸沒瞥見大魚波間  
蹠太白當船明似月

賴山陽

今朝五時十分の東京驛發で修學旅りの途に  
上りまゝた右に富士山左に駿河灣を秋霧の  
はれ間に眺めて通つた時は實に愉快で――た

それ許ではありません見るその関くもの旅に  
ては皆珍らしく愉快です今名古屋にすまいた  
夜になつたのでまだ金の鯉も見ません

2210.7

大正十四年十月為  
光風館主人囑  
半澤山口彦總書



現代書藝全三册

大正十四年十一月十二日印刷  
大正十四年十一月十五日發行

揮毫者  
編者  
發行者

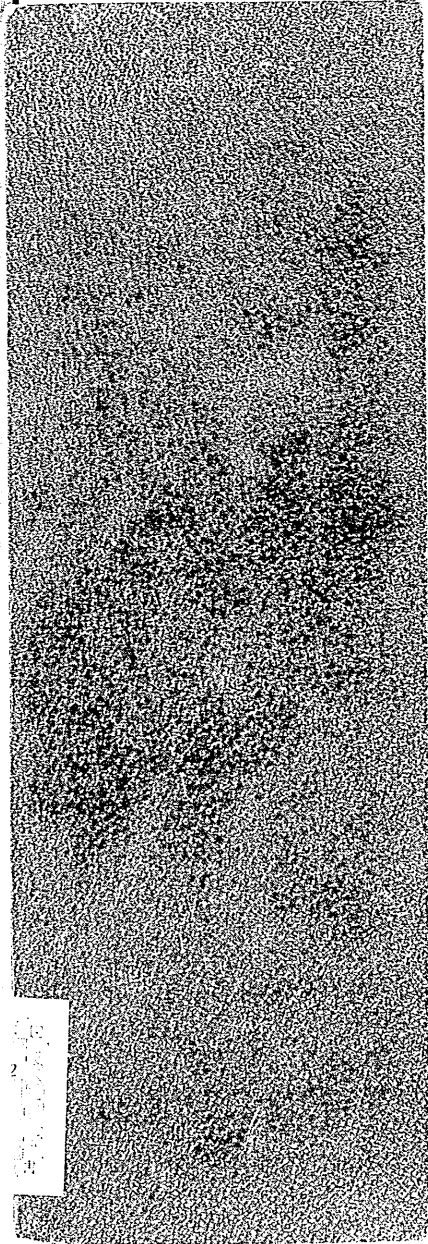
山口彦總  
東京市神田區通神保町六番地  
上原才一郎  
東京市神田區通神保町六番地  
光風館書店

定價各金二十二錢  
大正十五年庚  
臨時定價金三十拾七錢

著作  
所有

294  
93

(電話國大)手七三四〇番  
(攝音)座東京三三七番



2